

学校だより

(全じどうはいふ)

な わ し ょ う つ う し ん

暁小通信

令和6年度 第4号

令和6年6月7日発行

四條市立四條市小学校

校長 香村 紀子

じゅぎょうさんかん

授業参観 ありがとうございます！



きのう じゅぎょうさんかん ほごしゃ かた き
昨日の授業参観には、とてもたくさんの保護者の方に来ていただきありがとうございました。

きょうしつ とも はな あ かんが さぎょう ばめん せってい じゅぎょう
どの教室も、友だちどうして話し合ったり、考えたり、作業したりする場面が設定されている授業でした。

こうがくねん きょうどう しゅうだん せいちょう たの
高学年はさすがの協働ぶりで、これからの集団としての成長が楽しみになりました。

あつという間に 1 学期の後半戦が始まりましたが、見ていただいた授業のように、一人ひとりがいろんな

かくど かんが だ あ けつろん みいだ けつろん こうどう お
角度で考えをもち、それを出し合うことでよりよい結論を見出していき、できればその結論を行動に起こし

ていく、そんな学びを今後も展開していきたいと作戦を練っています。

2 か月が経って、子どもたちは自分の学年らしさはなんだろうと、探りながら少しずつ発揮しようとしてい

ます。例えば、委員会活動は新たな5・6年生での活動が始まりました。毎朝、放送委員の5・6年生が、緊張

した面持ちで、放送室に入っていきます。でもマイクを通して聞こえてくる声は、なかなか堂々としています。

また、1年生の教室をのぞくと、朝の用意を毎日段取りよくやり遂げて、運動場に遊びに出かける子も見られ

ます。今、何をどうすべきかを、自分で考えて判断するといったとても大切なちからを少しずつ少しずつつけていっているんですね。

これからどんどん一人ひとりの輝きが、様々な経験や達成感によって磨かれるよう、様々な取組みを進

めていきたいと思ひます。

なわてしょうぜんたい かがや ま いっしょ かんが
暁小全体が、カラフルな輝きをどんどん増していくためにどうすればいいか、子どもたちも一緒に考えていきたいです。

*学校だよりは、学校 HP でも見ることができます。適宜更新しています。



校長室をのぞく子どもたち

校長室のドアをのぞくだけ開けています。すると、廊下を通る子どもたちが校長室をのぞいてくれます。「なんであけてるん?」「いいなー、校長先生だけ広い部屋やん。」「この写真の人、だれ?」いろいろと声をかけてくれます。

あけてるのは、私がさみしがりやだから。こうやってみんなが声をかけてくれるとうれしいんです。校長室は広すぎて、それもさみしくなるのですが、お客様が来られたりすると、ぎゅうぎゅうになります。写真は全部で30枚(6/3時点)飾っています。これは歴代の校長先生がた。初代の校長先生の写真はありますが、明治22年から39年までつとめておられたという記録があります。(え?17年も?ほんとかしら)子どもたちからよく聞かれる質問があるのですが、その質問に対する答えは、「半分ぐらいの校長先生がたはお元気にされています。」

こんな会話も楽しくうれしい一場面です。



令和6年度の学校教育目標は

お伝えするのが、**「一人ひとりが輝き合う 躰小」**

遅くなりました。～じっくり考え ともに挑み 互いを認め合う子の育成～

人とのかかわり方が、ひと昔前とずいぶん様変わりしました。ということは、自分自身との向き合い方ももちろん変わっています。そんな中で、子どもたちはどれだけ自分自身の良さを強みに気づくことができているのでしょうか。

簡単に多くの人とつながることができるようになった分、本当の自分らしさを表現することは難しいとも言えます。「自分自身」は人と比べて評価するものではなく、自分らしさを追いつけて成長していくものだと思います。

子どもたちには、①じっくり考え、自分自身の思いや考えに自信をもち、

②周りの思いや考えをうまく取り入れながら、よりよい学びやなかまづくりに向け、
なかまとともに挑み(チャレンジし)、

③互いの良さを知り認め合うことで ともに成長していく、そんな姿をみせてほしい。

そうすると、躰小では子どもたち一人ひとりが、それぞれに自分らしい色で輝き、友だちの輝きに気づき、学びを通して、互いにその輝きを磨き合い、いろんな色の輝きがみられるのではないかな。そうになりたい。そんな学校づくりをめざします。

今後、学習活動を柱に、さまざまな取組みを展開していきますが、どの取組みもこのようなめあてをもってすすめていることをお知りおきいただけるとありがたいです。